

令和6年3月8日

鳥羽市議会会議

質疑通告者一覧表

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 議案第 4 1 号 令和 6 年度鳥羽市一般会計予算について</p> <p>令和 6 年度当初予算は、中村市政 2 期 8 年目を迎える予算編成であり、一般会計で 1 2 6 億円と過去最大規模となった。予算編成基本方針と所信表明及び提案説明の中から以下の点についてきく。</p> <p>① 中村市政 2 期 8 年目を迎える令和 6 年度当初予算について、どのような思いで編成作業を進め予算案を確定したのか。</p> <p>② 重点的予算配分として、市長公約でもある「地域共生社会の実現に向けた施策・地域共生社会パッケージ」と「海のシリコンバレー構想」の施策を上げている。これまでの事業の進捗と効果、改善及び令和 6 年度の展望と継続性について見解をきく。</p> <p>③ 所信表明では、「まちづくり再生元年」として一步を踏み出し、新しいまちづくりのビジョンを出来るだけ早く示すと述べた。令和 5 年度には、庁内に「鳥羽駅周辺エリア再生事業プロジェクトチーム」を設置して検討を進め、令和 6 年度予算として「立地適正化計画策定業務」「避難路計画検討業務」「鳥羽駅周辺エリア再生事業」などを計上しているが、その内容も含め市長のまちづくりに対する存念をきく。</p> <p>④ 市長は、令和 4 年 1 2 月 2 2 日「ゼロカーボンシティ宣言 (TOBA ゼロカーボン・チャレンジ 2 0 5 0)」を表明した。また、環境省は、市内事業所での再生可能エネルギーの活用、発光ダイオード (LED) 照明導入、海藻や藻類が吸収する炭素「ブルーカーボン」の産官学連携の活用推進の取組みなどを評価して、今年 2 月 2 7 日、伊勢志摩国立公園内にある鳥羽市を「ゼロカーボンパーク」に登録した。</p> <p>市長の令和 6 年度の脱炭素化の推進、海藻や藻類が吸収する炭素「ブルーカーボン」の産官学連携の活用推進の取組み継続と持続可能な観光地づくりを目指す取組みについて見解をきく。</p>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>⑤ 本年1月1日に発生した能登半島地震を踏まえ、市長は、「防災・減災のまちづくり」の更なる推進を掲げている。市民の安全・安心な暮らしと生命・財産を守る対策について、予算の内容も含めてきく。</p> <p>⑥ 市民生活を守る行政運営を行い、持続可能な鳥羽を実現するためにも、市職員の働き方改革は最重要課題であり、今後、定年延長も見据えて、人事管理と職員の健康増進を図ることが必要である。</p> <p>市長は、令和6年度も職員の職場環境の改善を重視した行政運営の考えはあるのか。施策について見解をきく。</p> <p><市長></p>			